

チームエッフェガーラ

宇都木 実 レースレポート

2012年5月 27日

TOYOTA SL KART MEETING FESTIKA Rd.2

フレーム : TONY RACER EVX

エンジン : YAMAHA KT100SD

タイヤ : プリヂストン SL07

エンジニア: 加藤 真 (レーシングサービス エッフェガーラ)

メカニック: 立木 保 (チームエッフェガーラ)

YAMAHA SUPER SS

◆ レース結果

TT 1位 (32.098)

第1レース 2位

第2レース 4位

◆ 2012 年度

シリーズランキング

3位 (21.5 ポイント)

(Rd.2 終了時点)

レースを前に

Rd.1 ではトップ争いから水を開けられた形となってしまった。今回はゴールデンウィークに十分な準備をして臨むはずが、仕事の為準備不足でレースウィークに……。そこで今回は乗りなれた旧型フレームに乗り換え結果を残す事にウエイトを置き臨む。

公式練習

春を通り越し夏の様な気候になり、路面もかなりゴムが乗った状態となる。前日の練習では自分の走りも戻り手ごたえを感じ、公式練習に……。しかしエンジンの微妙な不調により、タイムも伸びず4番手

タイムで公式練習を終える。エンジンとセットを変え、TT に気合を入れ直す。

タイムトライアル

路面は前日よりゴム乗りもピークに……。車も決まって来て序盤からトップ争いを展開、最終ラップに逆転し久々のPP をゲットする。だが序盤にタイムがやや落ちるのが不安要素として残る。



第一決勝：二位

久々のポールスタート。スタートはうまく決まるが、不安要素が現実……。序盤は何とか後続を抑えるが2番手に落ち、後続との争いになったところでトップと差を開けられてしまう。中盤からペースも落ち着きトップとの差を詰め始める。後半一気に差を詰めたが追いついたところでゴール。

第二決勝：四位

気温もまた上がり、後半垂れる恐れもあるのでセットも大きく振りたいところだが、第一決勝で初期がやや悪かったのが、微調整で臨む事に。今年のルールでは第一決勝のタイム順でのスタートの為三番手スタートになる。一周目で先輩とのバトルに持ち込む作戦を立てるが、1コーナーで軽く接触……。そのまま三番手でレースが進む、後半勝負に切替えるが今度は中盤から垂れ始め、プッシュするも差を詰める事が出来ずペースを維持するのがいっぱいになる。最後は斉藤選手に抜かれ4位でチェッカー

レースを終えて

今回は調整も100%ではなかったが、トップ争いまで行けたところはまずまずでした。しかし今年のルールではレース中のタイムがそのまま第二レースのスターティンググリッドになる為、タイムも出す練習も必要になり、レースはタイムじゃない!! という今までの定説が崩れることになる……。次はまず1勝を目指し頑張ります。タモさんを始め、応援に来てくれた皆様、ありがとうございました。